

水草等対策技術開発支援事業実績

採択年度	平成 28・29 年度	事業者名	株式会社明豊建設
補助事業名	<p>(28 年度) “環境推進県” に相応しい堆肥化工法を確立し循環型社会に貢献する！</p> <p>(29 年度) 侵略的外来水生植物を KS 工法で堆肥化・ブランド化し循環型社会に貢献する！</p>		
補助事業結果概要	<p>①屋内外の堆肥化実証試験に於いては、KS 工法を活用することにより、悪臭を発生させることなく約 3 ヶ月の短期間にて有機堆肥化を実現。</p> <p>②完成堆肥の肥料成分を分析し良好な結果を得た。</p> <p>③生育試験に於いて、化成肥料よりも高い生育試験結果を得た。</p> <p>④侵略的特定外来植物の堆肥化実証試験を実施。堆肥化の実現には成功したが、作業効率と商品後の販売リスクを鑑み、今後の事業継続は断念。</p> <p>⑤完成した有機堆肥に内在する微生物群を対峙培養し、多犯性病原菌に対する拮抗性試験を実施。病原菌に対する拮抗性を確認。今後、第三者機関での実証試験実施を検討。</p> <p>⑥完成した有機堆肥の流通化に向けた広範囲なマーケティング調査を実施。小豆島のオリーブ園、奈良の富有柿生産農業法人等にてご使用頂く。</p> <p>⑦堆肥の商品化・流通化に向け、粒度調整による品質向上、商品パッケージの企画立案を実施。次年度の商品化・流通化を目指す。</p>		
本年度（平成 30 年度） の状況 ・技術開発等の状況を含む	<p>①自社発酵ヤードを活用することにより、水分調整が容易となり、短期間（約 2 ヶ月）に高品質な有機堆肥化を実現することが可能となった。</p> <p>②商品価値（信頼性）の向上を図る為に、特殊肥料登録および有機 JAS 資材別表 1 の認定を取得。</p> <p>③第三者機関にて堆肥中に内在する微生物群の多犯性病原菌に対する拮抗性試験を実施した。結果として、炭疽病・根腐病等に対する抗菌性評価で、最高レベル 2 の判定を受けた。</p> <p>④Benir du lac (湖の恵) として商品化し、関東圏で試験販売を実施。また、ホームページを作成しネット販売を開始。</p> <p>⑤発酵過程に出る発酵液中にも③と同様の微生物群が生息すると判明。</p>		
備考			